

【世界史探究】

<学習内容について>

古代から現代に至る長い時間軸のなかで、地球規模で展開する世界史のおもしろさを学んでもらいます。世界史を学ぶことによって、現代とは異なる時代環境の世界や場所を想像し、時空をこえた人々の生活や悩み、喜びを追体験しましょう。

<教材について>

教科書：『高等学校 世界史探究』（第一学習社）

<レポートについて>

レポートの回数は、前・後期それぞれ6回です。

- 【前期】 第1編 世界史へのまなざし
第2編 諸地域の歴史的特質の形成
第3編 諸地域の交流・再編

- 【後期】 第4編 諸地域の結合・変容
第5編 地球世界の課題

<学習の進め方について>

教科書をすみずみまで読んで、レポートを仕上げましょう。少し考えなければ解答できない問題もありますが、ヒントは教科書に隠れているので、根気強く取り組みましょう。後期の内容は特に、扱う時代や範囲が大きくなるので、自分だけでは理解しがたいところも出てくると思います。スクーリングに来校したときなど、積極的に質問に来てください。Eテレ「高校講座 世界史」も参考になります。

<スクーリングについて>

必要スクーリング時間数は前期2時間・後期2時間です。スクーリングでは、レポートの内容を中心に授業が行われます。スクーリングの際には、教科書・筆記用具を忘れないようにしてください。基本的には提出期限日が近いレポートの内容を扱います。

<評価について>

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を総合して100点法で行い、30点以上を合格とします。

[知識・技能]

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解することができる。また、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。

[思考・判断・表現]

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。

[主体的に学習に取り組む態度]

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本

国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。